

# ソーシャルマーケティングを活用した 肝炎ウイルス検査 受検・受療率向上の手法

平成27年9月29日

第15回肝炎対策推進協議会

株式会社キャンサーズキャン 福吉 潤

Cancer+scan  
パブリックヘルス推進のエンジン

# ソーシャルマーケティングとは

- 民間企業で用いられるマーケティング手法を社会課題解決に応用する活動
- 対象者のニーズを調査し、ニーズに沿った情報を提供し行動変容を促す
- 検診受診、禁煙、等の分野で活用されてきた手法

# ソーシャルマーケティングの手法を活かした がん検診受診率向上の実例

市町村	対象がん種	事業内容	対象者	受診率の変化	介入前後比較
S市	胃がん	個別受診勧奨 再勧奨 意識調査	63,68歳男女 21,000人	5.8%⇒21.4%	<b>3.68倍</b>
C市	乳がん	個別受診勧奨 再勧奨	62,64歳女性 7,758人	7.4%⇒20.4%	<b>2.75倍</b>
N市	子宮がん	個別受診勧奨 再勧奨	34,39歳女性 (2年以内未受診者) 9,000人	4.8%⇒7.2%	<b>1.5倍</b>
K市	大腸がん	個別受診勧奨 再勧奨 意識調査	64,65歳男女 4,000人	12.9%⇒61.3%	<b>4.75倍</b>
H市	乳／子宮／大腸 がん	個別受診勧奨 再勧奨	28,33,43歳女性、49歳男女 4,000人	3.4%⇒20.9%	<b>6.14倍</b>
H町	乳がん	個別受診勧奨 再勧奨	40-50代 (無料クーポン非対象者) 1,500人	7.6%⇒12.0%	<b>1.57倍</b>
T市	乳／子宮がん	個別受診勧奨 再勧奨	30-60歳女性 15,000人	9.4%⇒21.8%	<b>2.31倍</b>

# 「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」より 今後の取組の方針について

## 情報の提供

肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う

## 受検の促進

全ての国民が少なくとも一回は  
肝炎ウイルス検査を受検する

## 受診・受療 の促進

陽性と分かった方を受診・受療に導く

# 「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」より 今後の取組の方針について

情報の提供

肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う

受検の促進

全ての国民が少なくとも一回は  
肝炎ウイルス検査を受検する

受診・受療  
の促進

陽性と分かった方を受診・受療に導く

人は

正しい知識

を得ると



正しい行動

を取るようになる

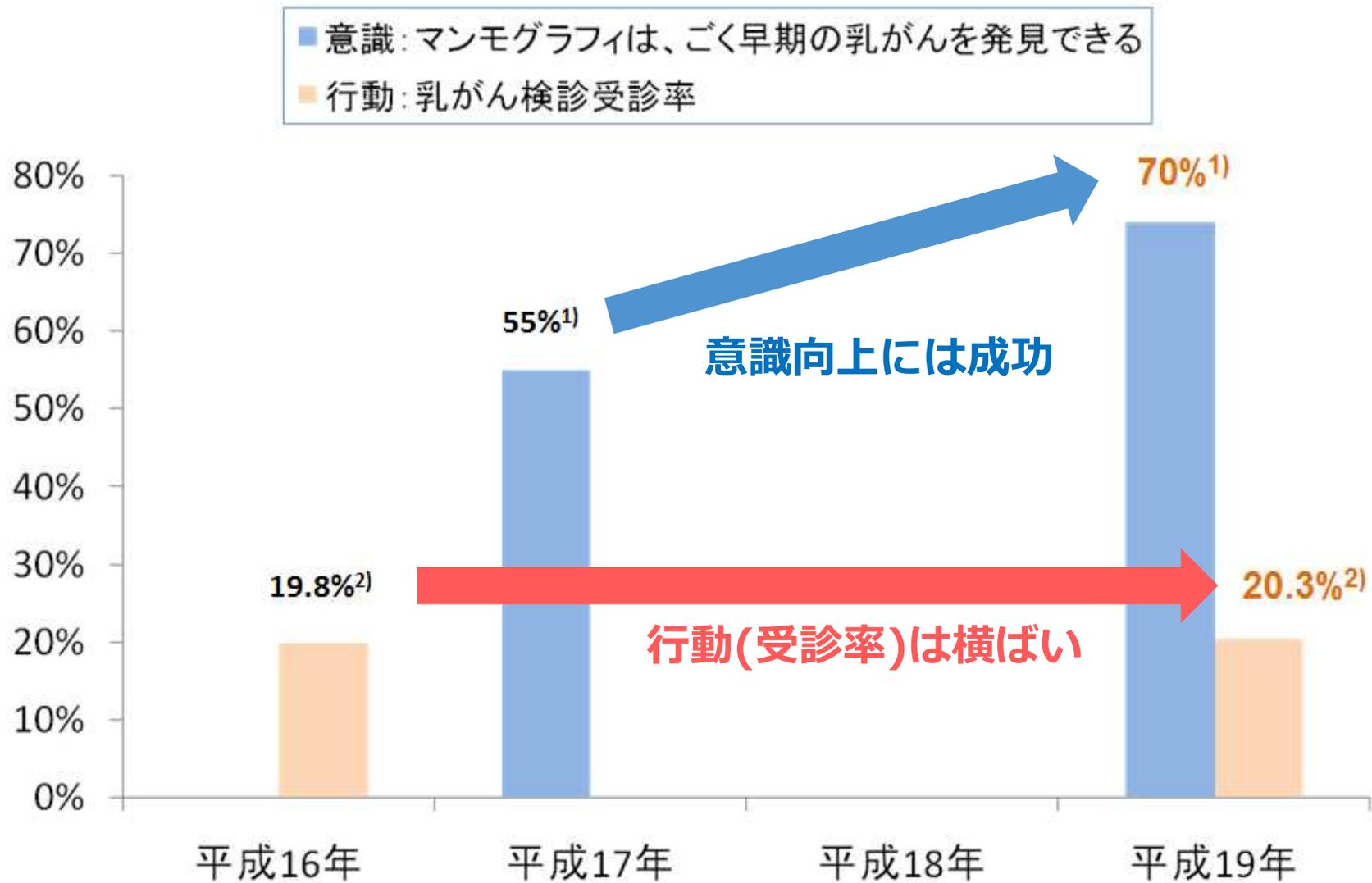
これが成立するのであれば、  
健康行動（検診受診・禁煙・食生活改善・運動等）を  
起こすことは簡単である。  
しかし、、、

## 例) 乳がんの啓発 ピンクリボンキャンペーン

### Pink Ribbon Campaign

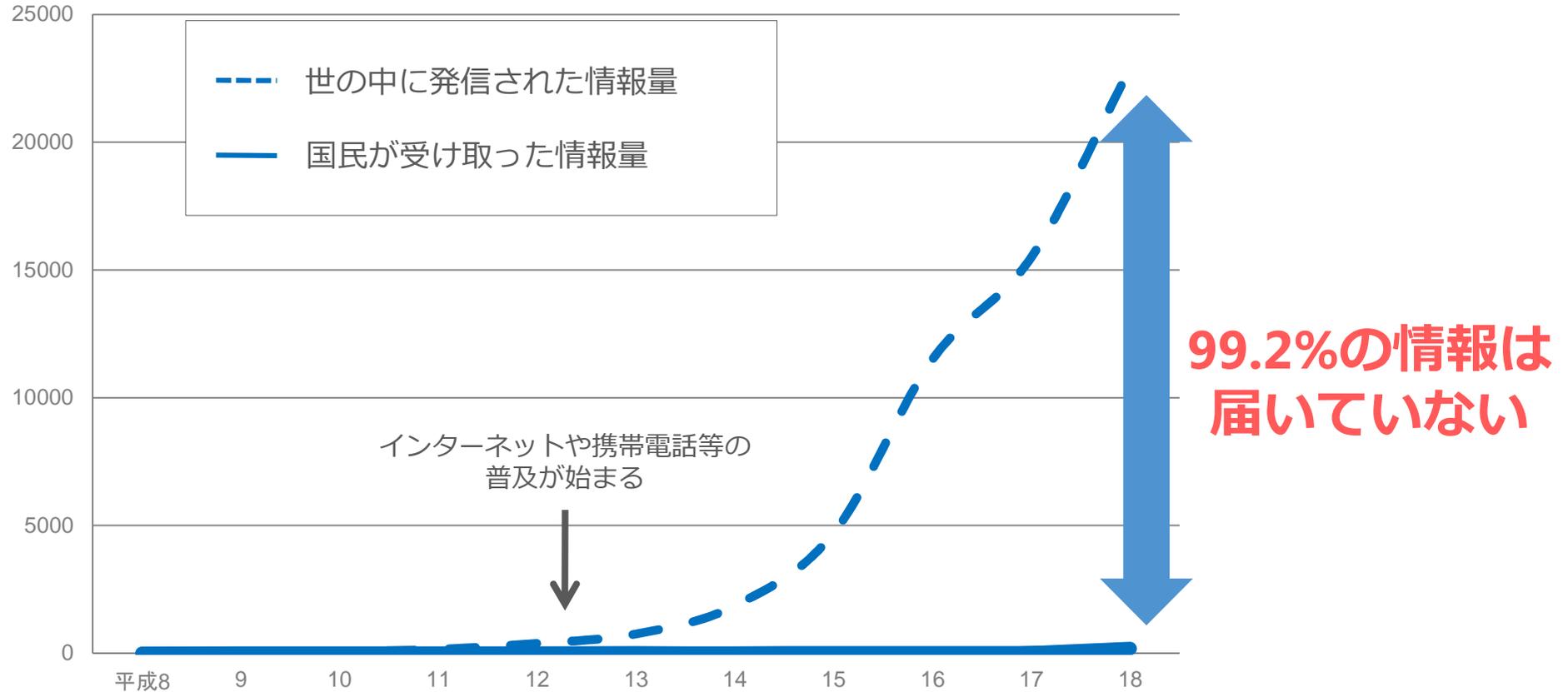


## 例) ピンクリボンキャンペーンの効果



Source: 1) goo、乳がんに関する2万人女性の意識調査、2) 国民生活基礎調査

## 発信された情報量・受け取った情報量



「とりあえず情報発信すれば誰かに届いている」という時代の終焉

出典：総務省「平成18年情報流通センサス報告書」

# 市役所からの乳がん検診のご案内①

## 乳がん検診のご案内

では40歳以上（年度末現在）の女性で検診機会のない方を対象に乳がん検診を実施しています。

乳がん検診を受けることで早期発見し、乳がんによる死亡を防ぐことができます。2年に1回は乳がん検診をご利用いただけますので、ぜひ、この機会に受診してください。

なお、勤務先等において同様の検診機会のある方は、この受診はご遠慮ください。

### <マンモグラフィによる検診を受けましょう。>

の乳がん検診は、マンモグラフィ検査と視触診検査の併用法で行います。

**マンモグラフィ**とは、乳房専用のX線撮影のことです。

撮影は、立体的で厚い乳房を正しく撮影するために圧迫板で圧迫し、乳房を薄くひきのばして撮影いたします。

これは圧迫せず撮影した場合に比べ、少ない放射線でしこりの影がはっきり写り、的確な検診結果が得られます。

マンモグラフィで撮れる写真は、乳がん初期症状の石灰化や腫瘍等を写し出します。

X線の量はごくわずかで乳房だけの部分的なものです。骨髄への影響はありません。

ただし、妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は、実施医療機関へご相談ください。

※このお知らせは、区にお住まいの方で、平成20年4月1日～平成21年3月31日までに満年齢40歳以上にお送りしています。

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

## 文字が多く読めない

## 市役所からの乳がん検診の案内②

区からの重要なお知らせ

平成 21 年度  
**乳がん検診**のお知らせ

ご存知でしたか？  
乳がん検診（マンモグラフィ）を受けると、  
**区役所から補助が出ることを。**

乳がん検診（マンモグラフィ）は精度の高いしっかりとした検診ですが、  
その分、高価な検診です。（約 11,000 円）

区が主催する乳がん検診（マンモグラフィ）は

**約 10,000 円の補助が受けられますので  
自己負担額 1,000 円で受診して頂けます。**

区では、区民の方に乳がん検診（マンモグラフィ）を  
受けて頂けるよう、サポートをいたします。

**ぜひ乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて下さい。**

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

返信用はがきに必要な事項を記入し、投函していただくだけで、受診券がお手元に届きます（平成 21 年 3 月末頃）。  
検診を希望されない方も、返信用はがきのご返送をお願いいたします。

**調査を元に修正**

# メッセージの修正

厚生労働省科学研究費「受診率向上につながるがん検診の在り方や、普及啓発の方法の開発等に関する研究」にて調査を元に資材を開発

## 研究で開発したチラシ

- ・レイアウト整理（原則 1 行 1 4 文字以内）
- ・情報を整理しメッセージを絞る
- ・「10,000円の補助が出ます」



## インタビュー調査の結果

- ・「1万円も補助してくれるの？」  
⇒お得・税金を取り戻す仕組みとしての**自分事化**
- ・「じゃあ、やっぱり、しっかりした検査なんだ」  
⇒**納得**

区からの重要なお知らせ

平成 21 年度  
**乳がん検診**のお知らせ

ご存知でしたか？  
乳がん検診（マンモグラフィ）を受けると、  
**区役所から補助が出ることを。**

乳がん検診（マンモグラフィ）は精度の高いしっかりとした検診ですが、  
その分、高価な検診です。（約 11,000 円）

区が主催する乳がん検診（マンモグラフィ）は

**約 10,000 円の補助が受けられますので  
自己負担額 1,000 円で受診して頂けます。**

区では、区民の方に乳がん検診（マンモグラフィ）を  
受けて頂けるよう、サポートをいたします。

**ぜひ乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて下さい。**

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

返信用はがきに必要な事項を記入し、投函していただくだけで、受診券がお手元に届きます（平成 21 年 3 月末頃）。  
検診を希望されない方も、返信用はがきのご返送をお願いいたします。

# メッセージ送り分けによる受診者数の比較

## 東京都医療保健政策区市町村包括補助事業 「がん検診受診率向上事業」にて効果検証を実施

**乳がん検診のご案内**

杉並区では40歳以上〔年度末現在〕の女性で検診機会のない方を対象に乳がん検診を実施しています。

乳がん検診を受けることで早期発見し、乳がんによる死亡を防ぐことができます。2年に1回は杉並区乳がん検診をご利用いただけますので、ぜひ、この機会に受診してください。

なお、勤務先等において同様の検診機会のある方は、この受診はご遠慮ください。

**<マンモグラフィによる検診を受けましょう。>**

杉並区の乳がん検診は、マンモグラフィ検査と視触診検査の併用法で行います。

**マンモグラフィとは、乳房専用のX線撮影のことです。**  
撮影は、立体的で厚い乳房を正しく撮影するために圧迫板で圧迫し、乳房を薄くひきのばして撮影いたします。  
これは圧迫せず撮影した場合に比べ、少ない放射線ですりこの影ははっきり写り、的確な検診結果が得られます。  
マンモグラフィで撮れる写真は、乳がん初期症状の石灰化や腫瘍等を写し出します。  
X線の量はごくわずかですり乳房だけの部分的なものです。骨髄への影響はありません。  
ただし、妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は、実施医療機関へご相談ください。

※このお知らせは、杉並区にお住まいの方で、平成20年4月1日～平成21年3月31日までに満年齢40歳以上にお送りしています。

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

1人

1500人

からの重要なお知らせ

平成21年度  
**乳がん検診のお知らせ**

ご存知でしたか？  
乳がん検診（マンモグラフィ）を受けると、  
**区役所から補助が出ることを。**

乳がん検診（マンモグラフィ）は精度の高いしっかりとした検診ですが、その分、高価な検診です。（約11,000円）

杉並区が主催する乳がん検診（マンモグラフィ）は

**約10,000円の補助が受けられますので  
自己負担額1,000円で受診して頂けます。**

杉並区では、区民の方に乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて頂けるよう、サポートをいたします。

**ぜひ乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて下さい。**

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

※検診は必ず必要事項を記入し、提出していただくだけで、検診券が杉並区に届きます（平成21年2月末日）。検診券を希望されない方も、検診用紙がきりご返送をお願いします。

131人

1489人

未受診者（過去5年間）を、2群に無作為に割り付け

# メッセージを伝えるために

多くを伝えようとする  
結局何も伝わらない



大事なひとつのメッセージに  
絞り込み確実に伝える



必ず事後評価

どのメッセージに絞り込むか  
行動科学的な調査・研究が必要

メッセージの例)

かかりやすさ

- 将来、あなたが肝炎にかかる可能性はXX%

受検の利益

- 早期発見・早期治療をすると、XX%の人が治る

肝炎の重大性

- 肝炎は進行すると肝がんに至ることがある

受検に至る障害の除去

- 市の肝炎検査はXX円で受けることができる
- 肝炎ウィルス検査は血液検査である
- 肝炎ウィルス検査は、一生のうち1回受ければよい
- 陽性と分かり治療をする場合は、助成金が出る

# 「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」より 今後の取組の方針について

情報の提供

肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う

受検の促進

全ての国民が少なくとも一回は  
肝炎ウイルス検査を受検する

受診・受療  
の促進

陽性と分かった方を受診・受療に導く

## 一般的な受検促進の考え方

受けない理由を調べる

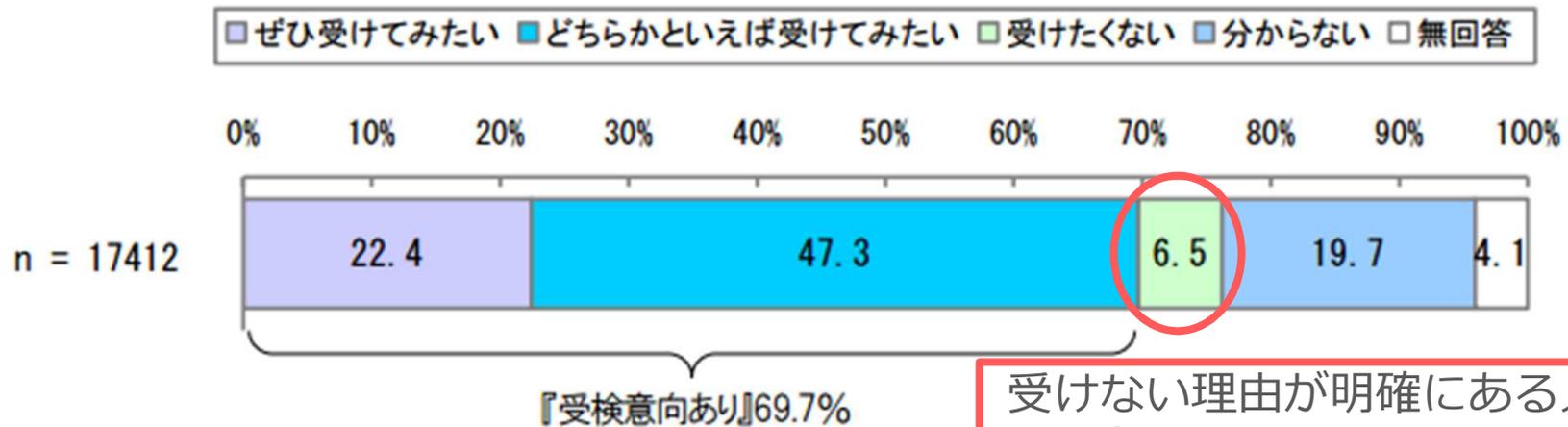


受けるべき理由を伝える

この“説得的”手法で良いのか？

# 肝炎ウイルス検査未受検者の受検意向

問5 (2) 今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか



多くの方は、「積極的に受ける理由がない」だけ



他の健診を受けるときに、付いてくればセットで受ける  
**わざわざ断るほどに嫌ではない**

出典：厚生労働省「平成23年度 肝炎検査受検状況実態把握事業 事業成果報告書」

## 例) セット受診のインパクト

特定健診の採血時に肝炎ウイルス検査をセットにする

肝炎検査受検者数 (H24年度) **110万人**

特定健診受診者数 (H24年度) **2400万人**

医療機関名	電話	特	肺	大	乳	子	肝
本 庁							
クリニック		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
眼科		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
診療所		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
クリニック 泌尿器科		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●

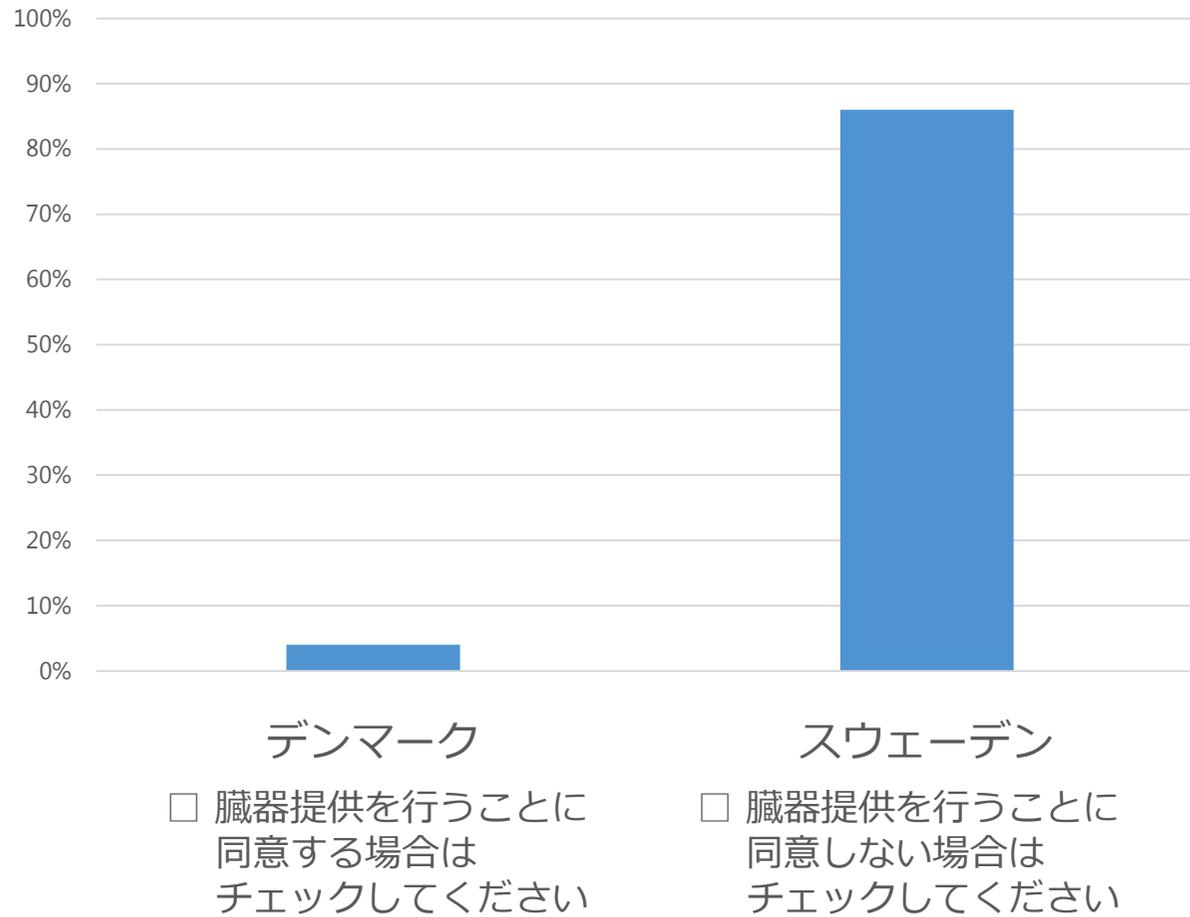
すでに多くの自治体で、  
特定健診・がん検診・肝炎検査の  
同時実施は行われている

しかし

「望めば同時に受けられる」こと (Opt-in) と、  
「断らない限りはセットでついてくる」こと (Opt-out) は  
大きく異なる

# 行動経済学の知見

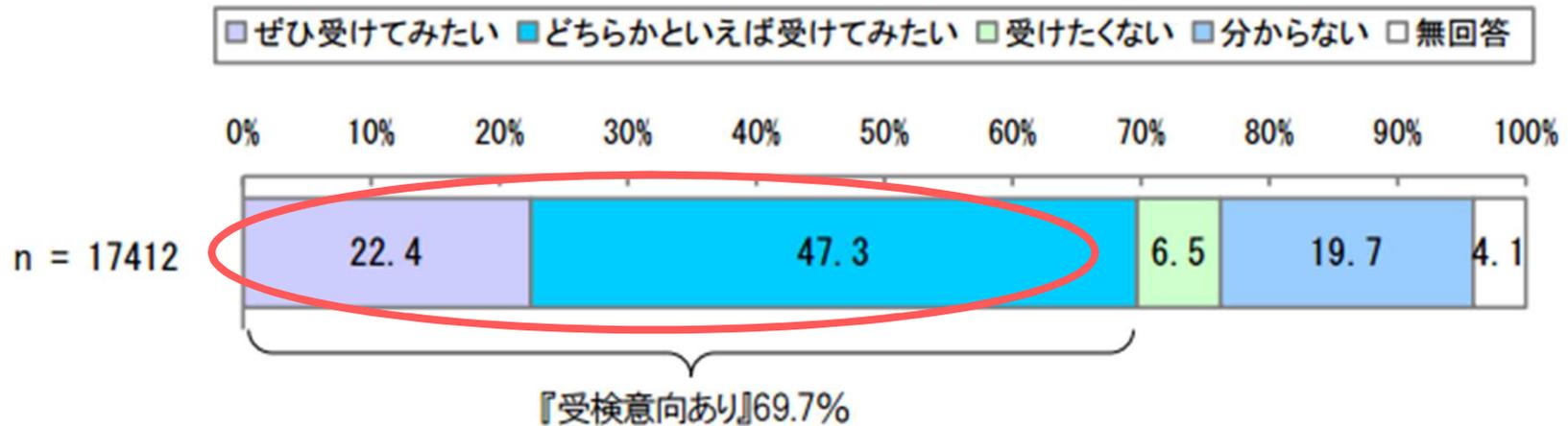
## 臓器提供を行う運転免許保持者の割合



「予想通りに不合理」 (ダン・アリエリー) より

# 肝炎ウイルス検診受検率向上のために

問5 (2) 今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか



「受けたくない人を説得する」手法ではなく  
受けても良いと思っている人が自然と受ける状態を作る

# 「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」より 今後の取組の方針について

情報の提供

肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う

受検の促進

全ての国民が少なくとも一回は  
肝炎ウイルス検査を受検する

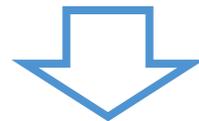
受診・受療  
の促進

陽性と分かった方を受診・受療に導く

陽性と判った者を  
受診・受療に導く

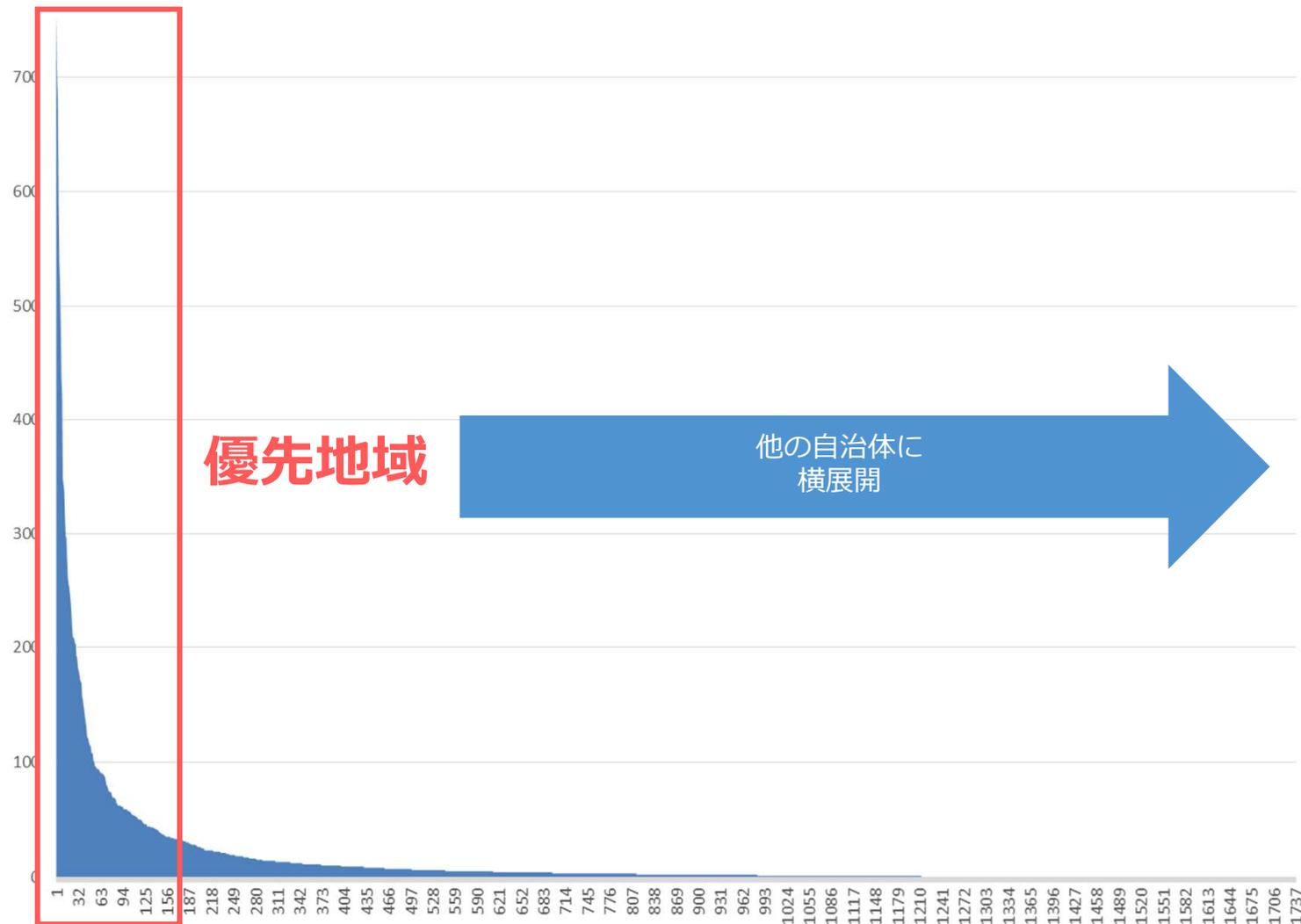


自治体が陽性者の  
フォローアップを実施



優先順位の高い  
自治体から順次スタート

# 全国自治体HCV陽性者分布



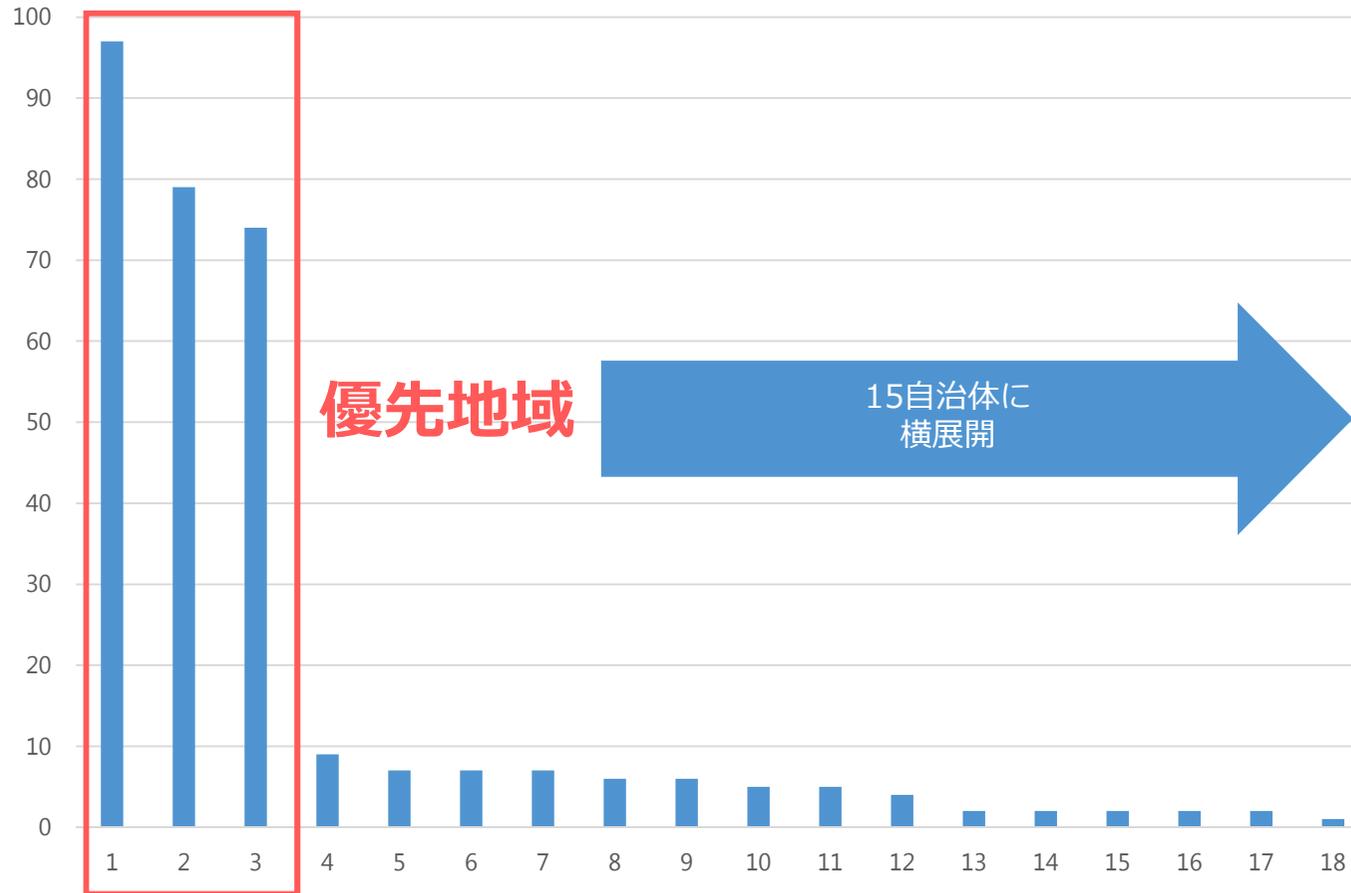
※参照データ：地域保健・健康増進事業報告健康増進編閲覧（健康増進編）市区町村表 肝炎ウイルス検診受診者数・判定別人員数，市区町村、年齢別 平成22年度～25年度  
厚生労働省各自治体における肝炎ウイルス検診等の実績 特定感染症等事業 平成22年度～25年度

# A県内市町村HCV陽性者データ

市区町村	陽性者数						合計
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
市	48	18	17	6	5	3	97
市	51	5	4	7	10	2	79
市	16	18	19	8	5	8	74
町	-	-	1	1	4	3	9
市	-	-	-	0	0	7	7
市	3	3	1	0	0	0	7
市	2	1	1	2	1	0	7
市	1	-	2	2	0	1	6
市	1	-	-	1	3	1	6
市	-	1	3	0	0	1	5
町	3	1	-	0	0	1	5
市	2	-	-	0	1	1	4
市	-	1	1	0	0	0	2
市	1	-	1	0	0	0	2
市	-	-	-	0	0	2	2
市	-	-	2	0	0	0	2
町	1	1	-	0	0	0	2
村	1	-	-	0	0	0	1

※参照データ：地域保健・健康増進事業報告健康増進編閲覧（健康増進編）市区町村表  
 肝炎ウイルス検診受診者数・判定別人員数，市区町村、年齢別 平成20年度～25年度

# 都道府県別効率的なアプローチ方法例



18市町村のうち3市（県全体の陽性者の80%）において  
フォローアップ事業を徹底 ⇒ モデル化し他市町村へ展開

※参照データ：地域保健・健康増進事業報告健康増進編閲覧（健康増進編）市区町村表  
肝炎ウイルス検診受診者数・判定別人員数，市区町村、年齢別 平成20年度～25年度

# まとめ

## 情報提供～受検

1. 肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う  
⇒まず、知らせるべき**一つの大事なメッセージ**にフォーカス
2. 全ての国民が少なくとも一回は肝炎ウイルス検査を受検する  
⇒まず、「受けても良い人」の**“ついで”受検**にフォーカス

## 受診～受療

3. 陽性者に対するフォローアップを徹底する  
⇒まず、**陽性者数が多い地域**にフォーカス